

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

「守るもの」と「変えていくもの」

石工事業からスタートし、土木・建築・舗装・スポーツ事業を通して地域に貢献している（株）館林工業。今回は専務の館林純平さんにお話を伺いました。幼い頃から大学まで、野球一筋。どのチームでも、キャプテンなどのまとめ役を務めていたそうです。一見、今のお仕事と野球は関係ないように見えますが、そこには通じるものがある…。野球で培ったものがお仕事でも活きている、そんなお話です。



野球大会で挨拶をする館林さん。地域貢献としてスポーツ支援も積極的に行っている。

「一人ではできない」この仕事の魅力

館林さん一「野球場を作る場合、重機を使用する会社、人工芝を張る会社、支柱を立てる会社など、合わせて50人位が現場に入る日もあります。いくつもの企業が手を組んで一つのものを作る…こういった横の繋がりは、他の仕事にはない魅力だと思いますし、竣工した時の達成感はものすごく大きい。携わった現場は全て覚えています。」



（株式会社エイジェック提供）

土をならすところから、砂利、舗装、人工芝を重ねて作り上げたエイジェックさくら球場。

大切にしていること

館林さん一「一番大切なのは『人』です。仕事は、お客様、働いてくれる社員、そして、社員を支える家族がいるからこそできることです。その上で『美を追求する』ということを大切にしています。建設業は地図に残る仕事と言われています。現場では一つひとつ想いを込めて、細かいところまでより美しく仕上げることを意識しています。また、作業中の身なり、ゴミ拾いといった美化活動、挨拶や言葉遣いまで、館林工業に任せたいと思っていただけるよう、働く過程でも美を追求しています。」





仕事以外のコミュニケーションが多いのも、(株)館林工業の魅力。

たくさん的人が関わるからこそ

野球チームでは元気がなかったり、仲間の輪に入れなさそうな人がいると声をかけていたという館林さん。お話を伺って、その気遣いは仕事でも活かされているなど感じました。館林さん「館林工業では、10代後半から70代まで60名程が働いています。社員の数だけ、意見や考え方があるので、話を聞いたり、話し合ったり…。社員に寄り添う気遣いは、父である社長を見習っています。」

これまでとこれからー10年、20年後の未来のために

館林さん「先輩たちがいたからこそ、館林工業はここまで大きくなることができました。その先輩たちの技術や知識を継承していかなくてはならないので、未来の担い手に向けて、ホームページやSNSでの周知を強化しています。他にも社員旅行やゴルフコンペなどのイベントを多く開催したり、作業着もスタイリッシュなものにしたり、社員に働き続けたいと思ってもらえる環境づくりを常に考えています。そして、いい伝統を守りながら、新しい技術や機械も取り入れたり、柔軟な対応をしつつ、さらに事業を広げていけたらいいなと思います。」

お祭りなど地域活動にも
参加しています！

(株) 館林工業

大田原市佐良土1164
Tel : 0287-98-2045



ホームページ



動画



NOT A HOTEL NASU



大田原市本町1-2695-4
猪瀬ビルNO.3
0287-53-7177

取材した方に聞きました 「あなたの好きな大田原」

リラクゼーション もみ心

何回も通っているという館林さん。和テイストのとても落ち着く空間で、心も体も癒されるそう。足つぼや体ほぐしの他、ワンランク上のオイルマッサージも！



📞
空き家問題110番
お知らせ

栃木県司法書士会では、全国的に社会問題となっている空き家に関する相談に無料で応じる相談会を開催します。

- 日時 9月8日(日) 10:00 ~16:00
- 相談方法 電話相談 0120-634-566
※当日のみ繋がります。
- 費用 無料 ※予約不要、秘密は厳守します。
- 問合せ 栃木県司法書士会 028-614-1122

お問い合わせ

大田原市の移住相談窓口 大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-3-1 大田原市役所A別館2階
Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)

Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp
担当課 : 大田原市役所 総合政策部 政策推進課

＼大田原の魅力を発信中／

